

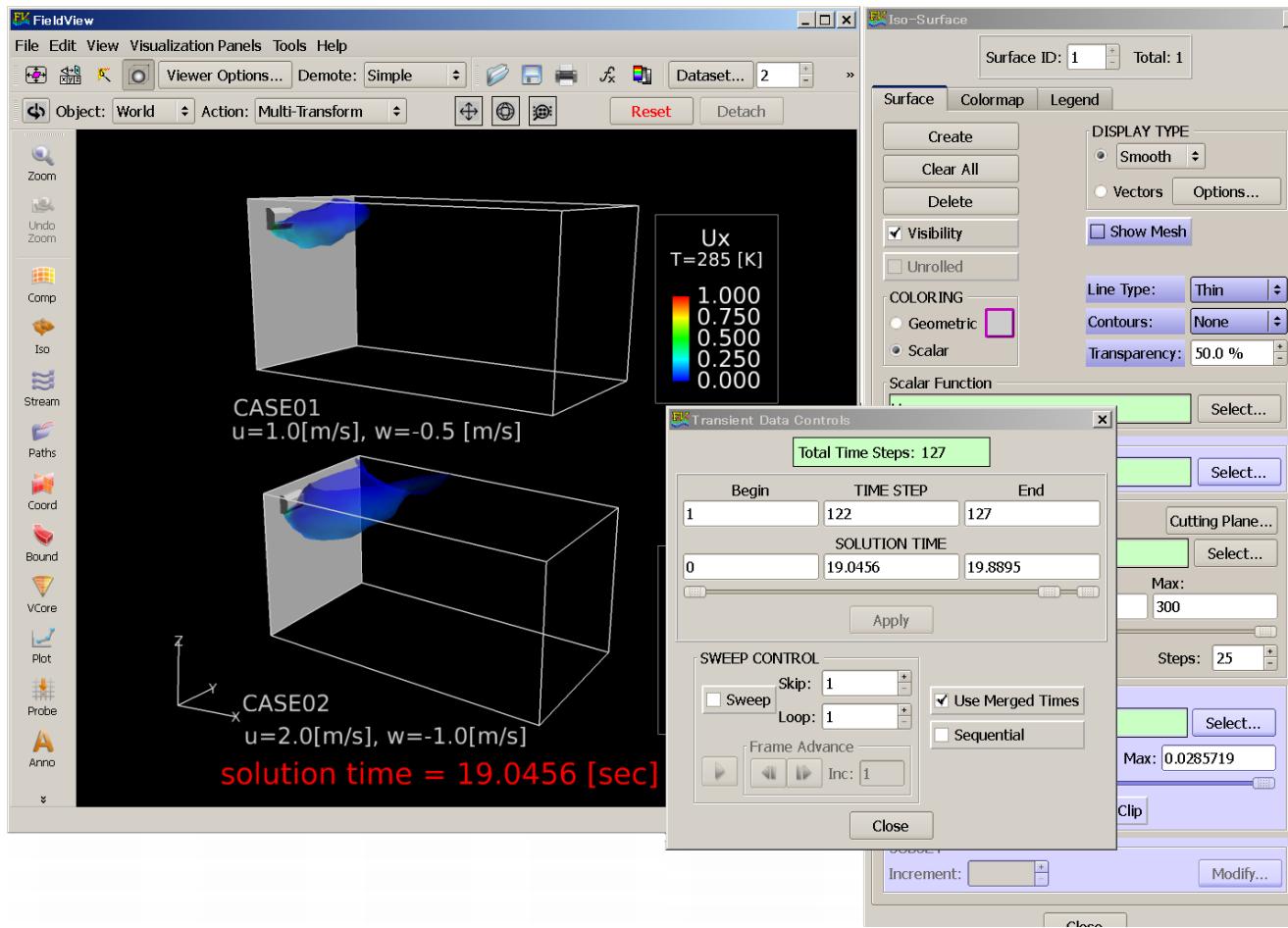
CFD/CAEインテリジェント・ポストプロセッサ



HT038  
非定常の複数データセットでアニメーション作成

株式会社 **ヴァイナス**

FieldView では複数の非定常データセットを読み込み、同時再生の動画を作成することができます。以下、サンプルデータ事例を使って解説いたします。



サンプルモデル: 簡易空調モデルケース(流入速度のみ異なる)

CASE01:  $u=1.0[\text{m/s}]$ ,  $w=-0.5[\text{m/s}]$

… CASE00.uns ~ CASE043.uns (44ファイル)

解析時間  $t=0.0 \sim 20.0003 [\text{sec}]$

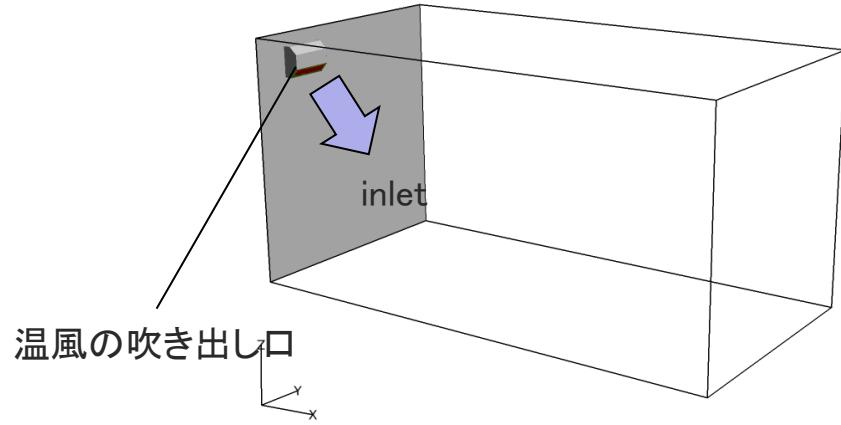
\* タイムステップ: 不等間隔 (約 0.5 秒)

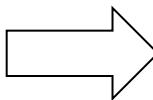
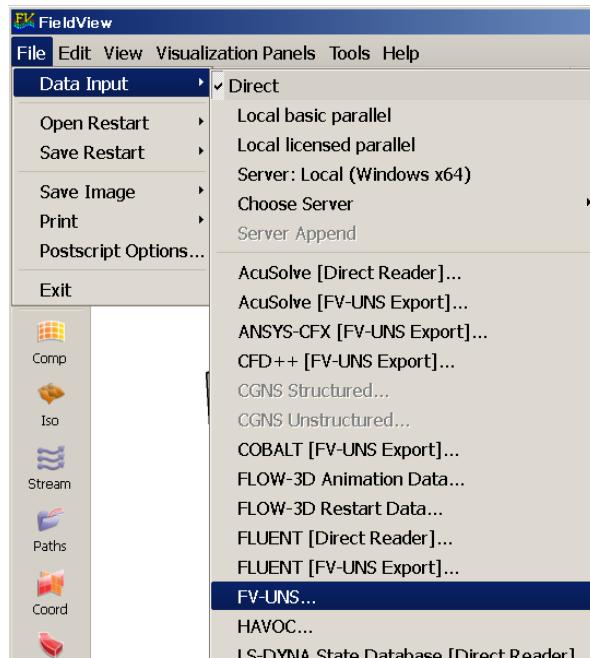
CASE02:  $u=2.0[\text{m/s}]$ ,  $w=-1.0 [\text{m/s}]$

… CASE00.uns ~ CASE095.uns (96ファイル)

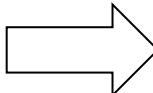
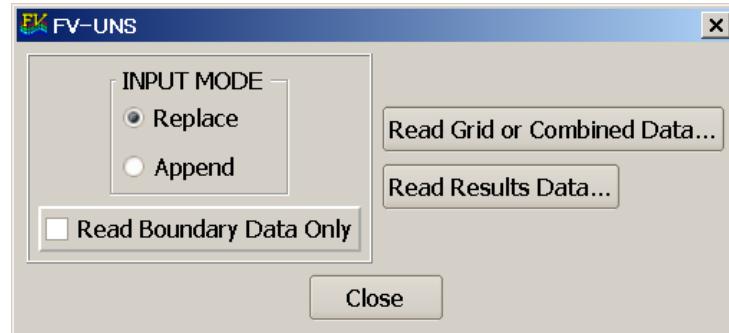
解析時間  $t=0.0 \sim 19.9879 [\text{sec}]$

\* タイムステップ: 不等間隔 (約 0.25 秒)



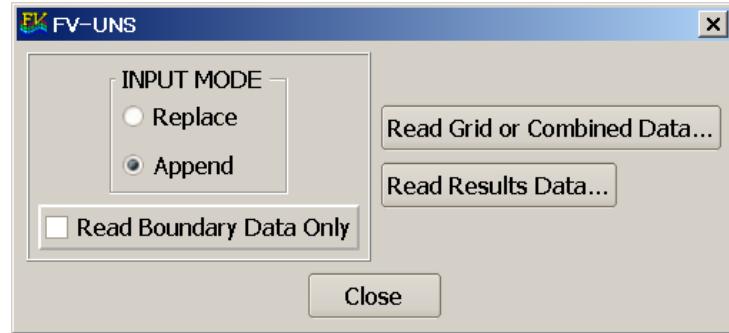


1つめのデータセット読み込み：“Replace Mode”



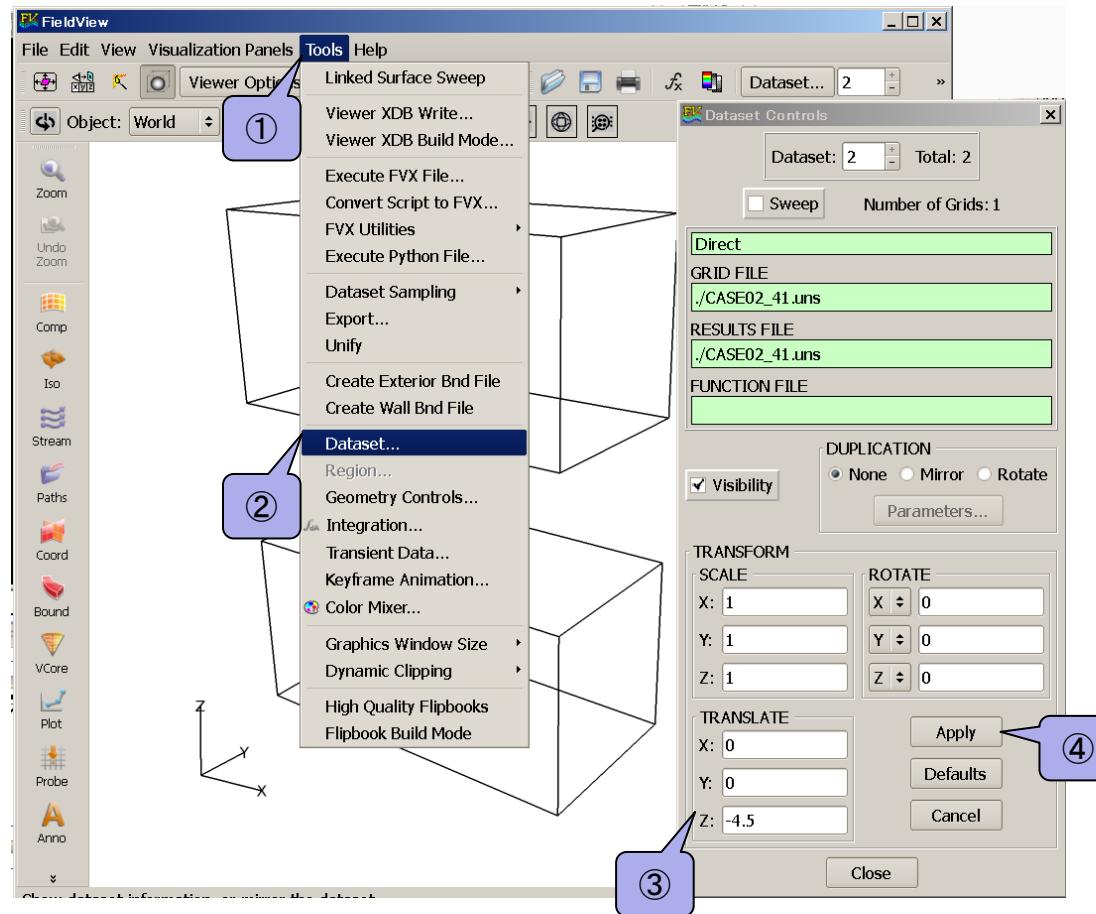
CASE02

2つめのデータセット読み込み：“Append Mode”

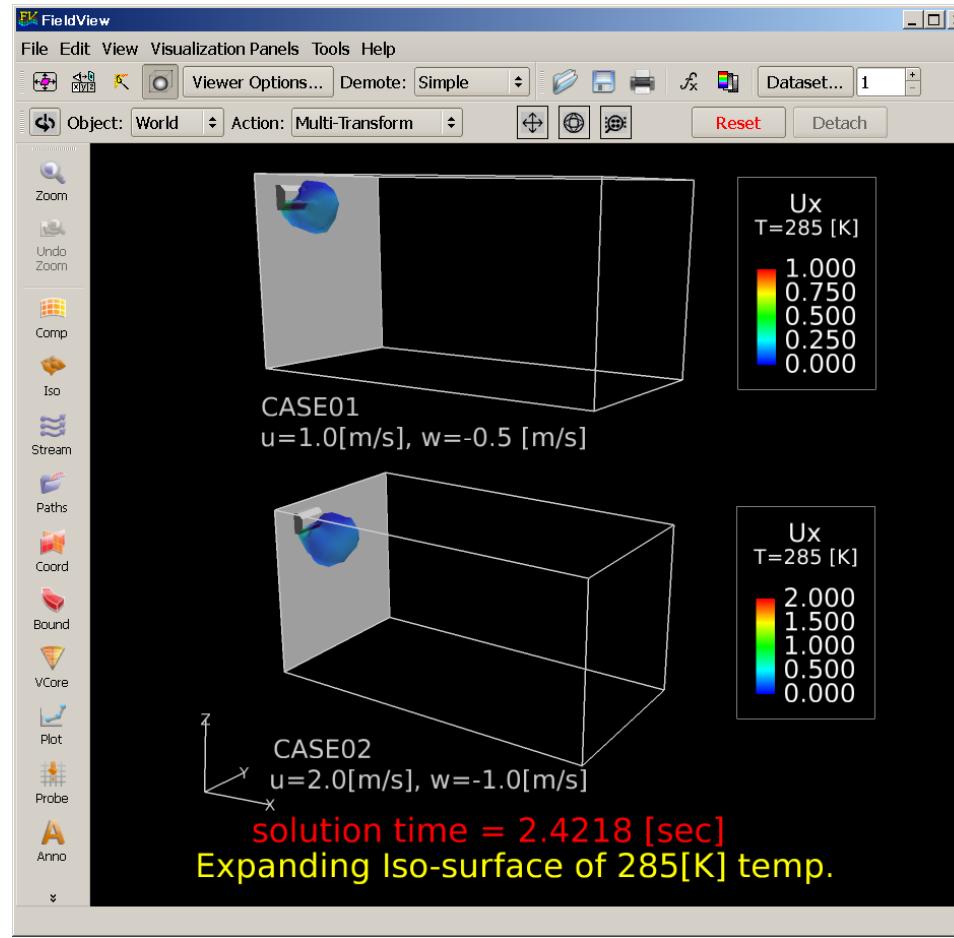


今回の2つのデータセットを読み込むと、解析空間が同じなので、モデル表示が重なります。

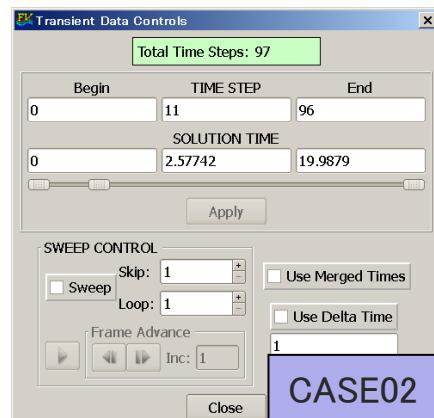
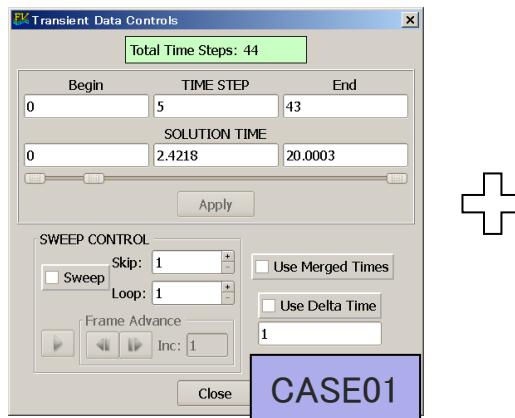
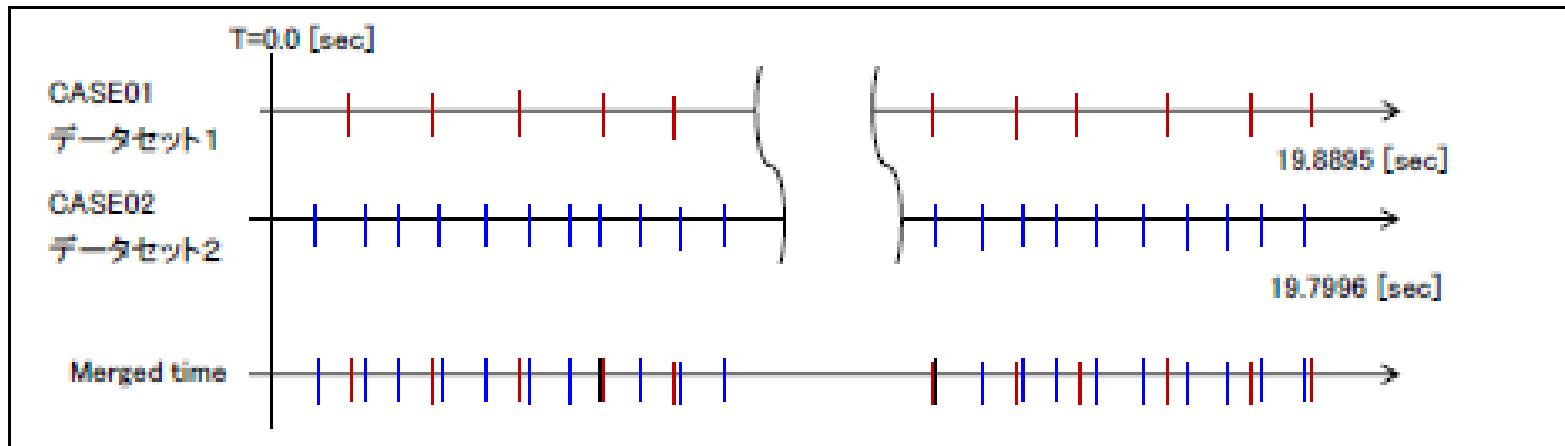
以下のように、[Tools] – [Dataset] の手順で Dataset Controls パネルを表示し、Z 方向に Translate 設定を行い [Apply] します。



それぞれのデータセットについて、比較しやすいように、同一のサーフェス作成を行います。  
この事例では、壁部分の Boundary Surface, 温度等値面としての Iso-Surface を作成しておきます。



データセット1(CASE01)とデータセット2(CASE02)は解析時間軸が異なりますので、時刻軸をマージする必要があります。



[Use Merged Times]を設定した状態でRestartファイルを保存後、そのRestartファイルを読み込むと、Merged Timeの設定が反映されませんので、Restart Fileで読み込み後は再度[Use Merged Times]のチェックを押してください。

Transient Data Controls パネルを立ち上げた状態で、[Tools] – [Flipbook Build Mode] の手順で、Transient Data Controls パネル上の [Sweep] ボタンを [Build] に変更させます。

